

平成27年度「未来づくり説明懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月8日（金）午後7時～午後9時
□会 場	宮津公民館
□参加者	町側10人、地区側23人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

常日頃は、阿久比町行政につきまして皆さま方のあたたかいご支援のもと施策を進めさせていただいておりますことを感謝申し上げます。昨年度の行政協力員さんからの改善策で未来づくり懇談会のありようを考えてみようということになり、多くの地区から意見がありました。来年度に向けて検討していきます。

（1）平成27年度重点施策について

○新庁舎建設事業費約18億3千万円。現在、庁舎のほうは3階の柱まで完成し今は4階の床部分に入ります、現在よりももう1階建ち上がってその上にソーラーパネルが上にのります。今年中に出来上がり内覧会等を12月に終えて、来年の1月の仕事始め式から業務にかかる、正月休みに引越しを済ませてしまうという段取りで進んでいます。

11月までに完成させ検査等を行います。字や個人で現在使っている備品等の中で新庁舎では使わない物の払い下げを行いたい。払い下げ方法を検討中です。今年中にそのような連絡をさせていただきますので利用をしていただきたいと思います。

○循環バス対策事業約3,423万円。昨年よりも1千万以上あがっています。法律改正によりバス会社に支払うお金が上がったためです。緑ナンバーで運行してはは倍もお金が掛かるので、バスを買い取って白ナンバーに変えて運行しています。町民の足の確保のためにバス運行は続けたい。

○子供医療費約1億7500万円。始めた頃は1億2千万円ほどであったので子供の数が増えています。中学校までの通入院が無料になっています。

○道路橋梁等に1億605万円。

○ごみ処理事業等3億7806万円、3つの事業で毎日のゴミの処理で毎年使っています。

町長所信「まちづくりは更なるステージへ」田園風景を守るために「田園町富」と「NAMトライアングル」（名古屋（N）・阿久比（A）三河（M））ラインを発展させることによって阿久比町の将来があると考えます。

○県が行う衣浦大橋の改良の設計が始まります。渋滞緩和の施策を5,6年かけてやっていきたいと報告がありました。

○阿久比駅のバリアフリーの完成について。

（2）平成27年度予算について

配布資料に基づき今年度の予算について紹介する。予算総額約166億円、阿久比町始

まって以来の大型予算です。一般会計予算は101億円。一般会計予算は皆さんに関係する福祉・教育・道路行政等基本的事業です。皆さんに一番関係しています。その他に、国保等の特別会計と水道事業会計の3本で阿久比町は運営しています。

○歳入歳出の使い方について、町民一人当たり収めていただいています税金が14万2千円ほどに、それに国等の予算をもらう依存財源を加え一人当たり約2.5倍の36万1千円ほどのサービスを提供しています。

○主な使い道について、一般会計予算のうち総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費などの主要事業について資料をもとに説明する。

(3) 人口の動向について

全体では、陽なたの丘地区により増えていますが、地区によっては人口減や高齢化率が高くなっているところもありますので、このことについても検討していかなければならないと思います。

各地区の人口増減、高齢化率、少子化率について紹介する。

(4) 国勢調査について

国勢調査の調査年であり、近年調査自体も難しくなっていますが正確な調査が求められております。ご協力よろしくお願ひします。空き家調査も行いたいのでご協力を願ひします。

3. 「住民税1%町民予算枠制度」について説明（政策協働課長）

わくわくコラボ事業・わくわくアイデア事業について

制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び応募促進講座の紹介をする。

4. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問(1) 阿久比町の南玄関口の要である 横松—半田岩滑間の環状線の開通をNAMトライアングル構想の一環として、早期実現して頂きたい。(横松)

答) 環状線の整備計画につきまして、環状線は愛知県の施行事業であり、名鉄河和線との交差方法、県道阿久比半田線との交差方法について、現在、愛知県にて検討されております。

今後も、早期着手していただくよう、県や県議会など関係機関に要望してまいります。(建設経済部長)

関連質問) 昨年以前の資料を見ましたが、この問題は何も進んでいないようです。昨年とひとつでも先に進んだところを回答に加えてもらえることを待っています。(横松)

答) 1つでも2つでもお答えしたいところです。私も毎年1度や2度県の方にも話をしています。県としては、卯之山の県道工事の完成が7月ですがそちらを最優先でやっています。

す。第2としては東部線を貫く工事に県は力を入れているという説明です。それを含めて環状線も町の南玄関、横松と植を結び半田市又は知多市へ抜けるということです。今月に通行止めになります島田橋の半田の部分の道路の傷みがひどく町のほうから半田市のほうへ要請しアスファルトの工事がまた始まりますのでご協力をよろしくお願いします。(町長)

質問(2) 町道1085線(月見ヶ丘線)の監視カメラの継続設置と、新規にもう一機ほど設置して頂きたい。(横松)

答) 防犯カメラの設置につきましては、平成24年度より、町内の駅周辺及び主要交差点、公園等に設置をまいりました。横松地区におきましても、平成26年度に環状線横松交差点に防犯カメラを設置し、町内への出入りについての監視を行ってまいりました。今年度は、中部工業団地西交差点、植大平成橋北交差点など6基の設置を予定しており、横松地区の島田橋東道路も予定に入っています。今年度末では全部で38基となります。カメラの設置につきましては、今後も必要に応じて検討、設置をまいりますので、よろしくお願いします。(総務部長)

答) 今年度も環境省中部事務所より監視カメラを借りる申し込みをしております。こういった問題は、町だけでは限度があります。地域住民と一体になって取り組まなければ、解決は難しいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。(建設経済部長)

関連質問) 昨年度は監視カメラをつけていただいて、それは効果が大変ありまして以前と比べて大変きれいになりました。昨日も通ってきたのですが、ネットも施していただきまして町の関係者には深く感謝します。監視カメラの抑止力はとても効いているのではないかと思います。提案させていただいたのですが、予算等の関係がありますが、例えばダミーとかバッテリーで動くダミーとかでも抑止力になるのかなと思いますので、そのあたりの予算はいかがでしょうか。(横松)

答) 防犯カメラの設置は今まで続けてきまして、効果があると我々も思っております。1基あたりは場所にもよりますが、大体40~50万円くらいかかります。ということもありまして一度に大量に設置するということもできません。今、計画では主要道路の設置が終わってききましたので、町側で考えているのが学校周辺、通学路になりますが子供の安全を考えて進めていこうかと考えております。防犯カメラの事業については効果がある事業ですので今後も続けていこうと思っております。(総務部長)

質問(3) 平成28年度横松地区での虫供養開催に伴い、阿久比町からの予算付けをお願いしたい。(横松)

答) 阿久比町の虫供養は、古く平安時代より行われている民俗信仰行事であり来年は大字横松地区での開催が予定されています。現在本町では、虫供養付掛軸を有形民俗文化財にしており、その保存維持のために、阿久比町文化財保存事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を実施しています。補助額は、当該補助対象経費の1/2以内とし、限度額は5万円で、毎年、該当地区に交付しています。

昨年度 阿久比谷虫供養菘実行委員会より独立行政法人 日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金助成交付要綱よる助成金の交付を要望し行事に掛かる飲食代等を除く約1/2の経費について助成金が付きました。ぜひ、横松においても芸術文化振興基金助成を利用し少しでも財政的負担を軽減できるよう、地区と町が一体となって要望していきたいと思えます。(教育部長)

関連質問) 菘さんの良い前例を教えてくださいました。また菘さん等からご助言いただきたいと思えます。その中で、横松地区も菘地区も人口の少ない中でこういう行事をやらしていただいているのですが、予算はさすがに難しい。もし許されるのであれば町の職員を貸し出していただきたいのですが、そういうことは可能なのでしょうか。(横松)

答) 地区の行事等に職員を出すというのは、大変難しいとしかお答えできませんのでよろしく願いいたします。(総務部長)

関連質問) 是非ボランティアで来ていただくと言う事でよろしく願いします。(横松)

質問(4) 現在、3ヶ所にある拡声器を1ヶ所の放送で3ヶ所とも聴けるようにして欲しい。(菘)

答) 菘地区には、屋外拡声子局が3局設置してありますが、自局の放送操作で、複数子局の同時放送はシステム上不可能となっております。

将来的にデジタル化されれば可能と思われませんが、現在のところ予定はありません。(総務部長)

関連質問) 拡声器を3ヶ所でやることを無理といわれましたけど、具体的に何年後にできるとかの話をお答えしてもらってない。検討するというだけでなく具体的な話をしてもらいたい。(菘)

答) 先ほど私は、将来的にデジタル化されればその可能性があるとお答えしましたが、デジタル化になりますと莫大なお金がかかりますのでその予定はありません。先ほどは検討するとは答えてはおりませんし、現在はデジタル化する予定はありません。一度でできないのかという事もメーカーのほうにも確認しましたが、現在の同報無線のシステムでは、親局からの送信データいわゆる役場からの送信電波からの放送と、屋外拡声子局の下でその子局のみを放送をするという2つの方法でしかできません。1つの子局から3つの子局

を放送するというのは、今のシステムではできませんと回答をもらっています。(総務部長)

関連質問) 子局が3つある地区は災害があるときに困るのです。具体的にいますと、災害が起こったときに3ヶ所回っているうちに終わってしまいます。なんとか1ヶ所で3ヶ所放送できるものを別に付けてもらいたいのです。(萩)

答) 災害時に1つずつ回ってられないということですが、災害時には役場からの一斉放送が殆どではないかと、災害時に区長さんに各子局を回ってもらうというのは現実的ではないと思います。災害があつて放送してほしいときは役場のほうへ要請してください。(総務部長)

質問(5) 町民レクリエーション大会はいい行事だと思いますが、得点種目をやめて、皆が気軽に参加出来る競技にした方がいいと思います。どうしても少ない人数の地区が不利になると思うからです。応援している人も一部の人たちだけであとはしらせています。(萩)

答) 町民体育祭レクリエーション大会は、町民が一堂につどい、運動を通じて親睦を図る。併せて、スポーツの普及と体力の増進をねらいとして開催しています。毎年、レクリエーション大会後に次年度の大会運営を改善するため、地区代表者によるアンケート調査を行っており、競技種目の安全面や年齢別構成などについて改善を図ってきました。今後も、一人でも多くの方に参加していただけるように、改善について検討・協議をしてまいります。(教育部長)

関連質問) 町民レクリエーションの種目ですが、最後のリレーの盛り上がりとか優勝とか地区の人数の多い所とかで決まっています。萩地区の人は見ても面白くない。しまいにはテントをたたみ始めてしまう。もう少し具体的な案を示してほしい。(萩)

答) 種目についてはここ何年間変更ありません。種目の変更については地区の体育振興委員等がみえるので、その方からご意見をいただき、大会終了後にはアンケート調査も行っています。そういう機会に意見を言っていたきたいと思います。(教育部長)

答) 毎年大会前に町レク実行委員会を開きます。体育振興委員など沢山の方々が出席されます。人数の少ない地区からはこういう問題が出ます。毎年委員会を開いていますのでそういう場で意見を言っていたいただければと思います。(町長)

質問(6) 虫供養などの費用が多くかかる行事は町が全面的にバックアップして、町全体で行って欲しい。昔からのしきたりや行事は守っていかなければいけないけど、少しずつ変えて取り組みやすくしていかなければ若者から見放されていくと思う。(萩)

答) 町内13地区が持ちまわりで行っています阿久比谷虫供養は、愛知県の無形民俗文化財として指定されています。長い歴史と伝統ある行事として、引き継がれております。町は、虫供養付掛軸の保存維持のために補助を実施しています。

昨年度、阿久比谷虫供養萩実行委員会より独立行政法人 日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金助成交付要綱による助成金の交付を要望し行事に掛かる飲食代等を除く約1/2の経費について助成金が付きました。

また、今後の運営等に対するの取り組みは、町内13地区の代表者や関係者により協議していただくことが必要ではないかと思えます。(教育部長)

関連質問) 13年に1回の持ち回りの時に地区の人が集めるのも大変なので、町民の皆さんに理解をしてもらい少しでも予算を付けてほしい。(萩)

答) 補助金については、宗教的観点もありますので難しい状況です。13地区をまとめて行うことや今後の方針について皆さんで話し合いいただくことと県の無形民俗文化財なので、県に問い合わせをしないとイケません。(教育部長)

関連質問) 萩、横松は人数の少ない地区ですが、人数の多い地区と補助は同じですか。大きい地区も小さな地区もやることは同じである。そうすると小さな地区の個人個人の負担はかなり大きくなる。もう少し良い案を考えてもらえないのだろうか。(萩)

答) 経を読むということは、宗教とは切り離せないものです。行政と宗教は一線を画す必要があります。補助を出すにあたってそこが一番懸念される。大塔婆を立てたり、念仏すること、そういうことが引き継がれているので県の無形民俗文化財となっているので避けられないと思えます。問題は準備をしたり、色々な事をするのに人を動かすにあたっての飲食費が掛かる事が良く分かりましたが、公費をそこに投入する難しさを理解していただきたい。今までは、金銭よりも文化財の軸を預かって欲しいという要望が多く、そちらの方がお応えできる事があるのではないかと思えます。13年前に横松地区からその様な話を伺っています。保管場所については新庁舎が出来上がってからになります。文献などであれば図書館の書庫などが良いのではないかと思えます。(町長)

質問(7) 東部小の拡大に伴い早急に検討いただきたいこととして、

①東部小の児童避難場所の変更(下記の意見が寄せられており、検討が必要と考えます。)

『東部小の津波災害は考えにくい絶対はないとも言えない。その場合谷性寺というのは道が狭く急勾配の上、山腹崩壊の危険箇所(実際1935年ごろそういうことがあって死者がでた。)。私有地であるが、東部小の北東の宮平柴、宮本辺りの畑、宅地が広さ、高さ、距離からも有効で了解が得られるのでは。』

②変更が進められていますが、上記災害とを加味してこれでよいかどうか検討が必要と考えます。

『学童保育に孫をあずけていますが、古い建物で山が崩れてきそうで危険です。子供の安

全、安心して子供をあずけられる建物を建ててください。また建物は学校の近くでないで大変不便です。学校が終わってすぐ近くで移動でき安全であることが大切ではないでしょうか。』(宮津)

答) 愛知県の地震等被害予測調査の想定結果によりますと津波による人的被害については、本町は、被害わずかと想定結果が出ておりますが、地区が言われるように、災害予測に絶対はありません。

地震発生後に、津波警報等が発令した場合には、垂直避難場所として現在は、小学校の2階・3階若しくは屋上を考えております。児童の避難誘導を考慮するならば小学校は、耐震化補強もされており津波避難施設としては、最善と考えております。(総務部長)

答) 学童保育として使用している建物は、ご指摘のとおり古い建物であり、山腹崩壊時には影響が出るものと考えます。災害発生が予測される場合には、災害時の避難所を活用するなど安全の確保に努めます。

また、施設の設置につきましては活用できる補助制度がないか調査・研究を行い、学校施設等の利用も含め、安全な学童保育所の設置を検討していきます。(民生部長)

答) 谷性寺は避難場所の指定はしていません。今こちら側が考えているのは、子供の安全も考えて小学校の校舎の屋上に上がってもらうことが一番安全と考えています。(総務部長)

質問(8) 東部小の拡大に伴い早急に検討いただきたいこととして、

③宮津公民館の機能の拡大と充実について

『宮津公民館に児童館を作ってほしい。子育て支援センターのような乳幼児やママたちが集う場も作っていただけたら幸いです。将棋や人生ゲームなどゲーム機ではなく室内で遊べるもの。トランポリンや運動器具など雨でも体を動かして遊べるもの』『宮津公民館に図書館を作ってほしい。子供たちだけでは町立図書館までは遠く、危ないです。子供の本離れ防止にもなります。』など、の意見が寄せられました。地理的にも宮津公民館を中心として校外学習機能を高めることは有意義なことであり、計画的に充実させる必要があります。なお、宮津公民館については、各種設備・内装の経年劣化が激しく大規模改修の要望も近々提案させていただきたいと考えています。(宮津)

答) 子育て活動として、中央公民館では子育てサークルが活動しています。宮津地区でもサークルを結成し、活動場所としてはいかがでしょうか。

また、室内で遊べる遊具・運動器具については、地域でのリサイクル活動等を行いご家庭などで使われなくなった運動器具等を募集し、リユースしてはいかがでしょう。

図書施設としては、現在、宮津公民館内に図書室があり、300冊ほどの蔵書があります。阿久比町立図書館では図書資料の団体貸出(100冊)を行っていますので、ご利用ください。

公民館施設は、皆さんがお互いに学習し、また文化・レクリエーション活動を通じて交流を深める場所です。

今後、公民館の大規模改修等の計画があれば町へ要望していただきたいと思います。(教育部長)

関連質問) 公民館の図書館は大人向けの本が多く子供向けの本が少ない気がします。本100冊の貸し出しはジャンル分けで借りる事ができますか。(宮津)

答) 図書館の方ではジャンルで借りられる数の制限はしていません。必要なジャンルで100冊お貸しする団体貸出をしています。(教育部長)

関連質問) 公民館の大規模改修に併せてそのような提案をさせていただきます。(宮津)

答) 改修は施設になりますので、中身の部分は備品となります。図書館では年に1回リサイクルフェアというものをやっています。そちらの方も公共施設を優先に選んでいただくということもしていますので、その制度もご利用ください。(教育部長)

要望) 公民館の機能拡大をしますと、大字宮津の枠組みから少し越えて陽なたの丘の子供達まで枠が広がっていく、その様な形に捉えていることも考えていますので、そういう点からも宮津公民館の機能拡充をお考えください。(宮津)

質問(9)「猫被害に困っています。近所に猫屋敷があり、糞・車のエンジンルームへの侵入・子供への健康・衛生面の心配等非常に困っています。近所の住人であり、高齢者のため、直接強く言いにくいです。地区、町にて対応願います。(長年困っています。宜しくお願ひいたします)」といった意見が寄せられました。犬の糞に対する要望があり、立て看板や掲示板で飼い主に注意喚起してきましたが、猫は飼い主とは行動を共にする動物ではないので、地域としての対応は困難です。行政として対応を要望します。(宮津)

答) 回覧版を回すなどできる限り、大字や近隣住民での対応をお願いしたいと思います。どうしても、改善がないようであれば、建設環境課へご相談ください。皆さんと相談しながら、粘り強く指導したいと思います。(建設経済部長)

関連質問) 字としても調べておりました、愛知県動物管理センターにも電話を入れていません。動物管理センターのアドバイスもあり、町としての考えをお聞きし、動物管理センターに動いてもらいたいと要望しようかと思っています。犬とは対応の仕方が違うと思っています。(宮津)

答) 町としても動物管理センターと相談して対処の方法を考えていきます。(建設経済部長)

関連質問) 字が直接言っているのか、町を通したほうがいいのかどちらが良いですか。(宮津)

答) 町の方に相談ください。そうしましたら町からも動物管理センターの方に行って話をします。(建設経済部長)

質問(10) 質問空き家対策について、どのように取り組むべきか検討ください。宮津には町並み保存として残したほうがよい建物があるとの声があがる一方で空き家対策を大字として、町行政としてどのように取り組めばよいかを明示して頂きたい。以下、寄せられた意見です。

『南側の空き家の屋根がところどころ崩れ落ち、境の木やトタン板があり台風時には我が家の庭にトタン板等が飛んできました。そのことを伝えましたが何もしません。また木の枝も伝えても切りませんので許可を得てやむなく私が切っています。台風があるたびに心配しています。特に瓦が飛べば大変なことになります。宜しく善処願います。』(宮津)

答) 空き家の管理につきましては、本来、所有者が管理するものでございます。家屋が壊れて道路の通行に支障をきたすような場合には、建設環境課までご連絡をいただければ、現地確認や所有者等の調査をしまして、所有者等に適正な管理を指導させていただきます。「空き家等対策の推進に関する特別措置法」につきまして、今後政令が発令され、国や県により説明がなされますので、それを受け研究し、対応したいと考えております。(建設経済部長)

関連質問) 空き家対策については、所有者が亡くなった方で相続が決まらず宙ぶらりんになったような空き家については、このままずっと放置してよいのか。どのようにお考えですか。(宮津)

答) 相続が決まっていれば相続人に指導しますが、決まっていないと指導する人が分からないので難しい問題となっています。特別措置法はできていますが、政令がまだ出ていない。5月26日には出るといわれています。政令が出ると国や県が勉強会を開きますのでそれを聞いて対応を考えたい。(建設経済部長)

要望) 既に地域としては、網を張ったりして飛ばないようにしたりとか手を加えています。このまま放置をするのも如何なものかと思っています。また建設環境課の方に相談に伺いますのでよろしくお願い致します。(宮津)

質問(11) 『宮津3丁目付近における街灯を設置して頂きたい。(理由、小・中・高校生が通学に使う道路で、特に冬場は日が沈むのが早く、生徒たちの事故・犯罪防止等安全面を考えると街灯がなく、真っ暗なため、設置してほしい。) この件で町役場に申し入れをしたが、区長さん等を通じないと駄目と言われ、ぜひとも検討願います。』このような要望が

大字に寄せられました。これは、ただ単に暗いところを徐々になくそうとする提案とみると適切な電柱がないなどと言って先送りとなったり、1、2本の追加で解決できる問題でもありません。大字宮津としては、区画整理地区の主要幹線道路であり、他の幹線道路と見比べて、街灯設置の抜本の見直しを強くお願いしたい。広い道であり、街灯の両サイドへの設置、設置間隔などを検討ください。抜本の見直しを検討いただきたく、維持補修等の施工申請ではなく、未来のまちづくりの提言として要望しました。(宮津)

答) 防犯灯の新設は、年間に30本を予定しており、各行政協力員より、地域内で優先順位をつけ、要望書を提出していただき、町で、現地調査を行い、必要性の高い箇所より設置しています。

今回の設置要望につきましても、行政協力員から要望書を提出していただいた後、必要性が高い場所より設置してまいりますので、よろしく申し上げます。(総務部長)

主要交差点以外に街路灯は、設置していません。(建設経済部長)

関連質問) 申請の方法は承知をしています。1本や2本を設置するのではなく、矢高横川線はまだ開通していませんが、幹線道路として、陽なたの丘に抜ける道や他の幹線道路と比べてあまりにも差があります。あの広い幹線道路を毎年1本や2本の申請で明るくするとは思えません。新しい地区に多くの方に住んでいただき、子供も増えていく中で、他の幹線道路に比べどうだろうと思ひ、敢えてこの懇談会で取り上げさせていただきました。何卒もう一度ご検討ください。(宮津)

答) 年間30本で予算付けをしています。本数を増やすというのも難しいのですが、住宅地で暗い所が重要なところになります。新しい住宅地で生活道路の暗い所には防犯灯が必要となりますので、区長さんから防犯灯の新設の要望書を出していただきたい。(総務部長)

要望) 宮津地区から10本20本の申請をさせていただくことにはなりますが、無茶なことを言わないでと言わずご検討いただきたい。(宮津)

5. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 軽トラックを町の方から貸出しをしていただけないか。(萩)

答) 町の公用車を貸していただけないかと言うことだと思います。車の保険が職員を対称にしかしていないので、お貸し出来ないと思います。(総務部長)

答) おそらく言われているのが、公用車でなく軽トラックだと思います。今役場で軽トラ

ックを持っているところが、水道課と社会教育課くらいではないかと思います。水道課になりますと現場にすぐ行かなければならないので難しいです。台数も限られており、2・3台くらいなので、今の段階ではお貸しするのは難しいです。(副町長)

関連質問) 将来的にも無理ですか。青パトみたいな感じになるようなことは。(萩)

答) 要望としてお受けしますが、保険加入等越えなければいけない問題もあります。(副町長)

質問) 去年も触れましたが、介護保険制度が変わって、要支援1・2の方のデイサービスについては国としてはやらないと、町でやれということになりました。非常に不安が大きいです。町の方の話では、政府としては今までのサービスを維持することになっている話ですが、実際にはそうはならないだろうと。実際におととしの秋から町福祉懇談会を4回やって本当に答が出ない。今までの議会の答弁や懇談会での民生部長さんの回答を聞いていると「維持する」と言われていますが、維持するというのは町の決意だとは思いますが、そうはならないだろうと誰もが考えております。その辺りをどのように考え、見通しているのか。現状がどの様になっているのか分からないとお互いが考えあうことができません。町としては本当に今までどおり保障できると考えているのかお伺いしたい。(宮津)

答) 厚生労働省のほうから、要支援のサービス、日常生活支援が町の方に平成29年度までに移管することは決まっていますが、そのサービスの内容ややり方など具体的な中身が国の方からはまだ示されていません。介護保険制度から町のサービスに変わりますが、今までのサービスは継続していく、継続していきたいとその様に考えていますのでご理解いただきたい。(民生部長)

関連質問) こういう時は、正直なお答えをいただいた方がいいので、国の方も平成29年度に移すのに具体的なものが示せていないというのちょっとおかしなものだと思います。町としては実際困っていると思います。そういう状況の中でどう考えていくのかということを行行政の方もですが我々も考えていかないとくしゃくしゃになっていってしまうと思います。(宮津)

答) その辺りは持ち帰って、先ほど述べたことは、事実で国の方から具体的なものが示されていないというのは嘘ではありませんのでご理解いただきたいです。(民生部長)

質問) 防犯カメラは年間5基、防犯灯は年間30基の予算である。総務部長からも防犯カメラについては効果が相当あるとのお話でした。費用対効果があるものを増やす方向に行かないのか。毎年5基やっています、30基やっています。だからいいと言うのは役所の答弁だと思います。限られた予算があることは分かりますが、費用対効果があるものは重点項目で、優先的に取り組んでいくことが必要では。成果が上がることは予算を増やすなど

の考えは無いのですか。(横松)

答) 防犯カメラと防犯灯について効果があるものを重点的に付けたらどうかとのことですが、防犯灯について6、7年前は40基ほど予算がついていました。平成22、23年頃から設置の要望が減ってきて現在は30基の予算がついています。昨年から要望の数が増えてきました。住宅が10棟、20棟建てられていますので、要望が多くなったと思いますが、今年度は30基で予算を組んでいます。防犯カメラについて、平成24年度は18基、平成25年度は9基、平成26年度は5基設置し、今年度は6基の予定です。来年度はまだ分かりませんが、学校周辺、通学路辺りに設置を考えています。(総務部長)

質問) 学校から不審者情報が携帯に入ってきます。防犯カメラが抑止効果になるなら通学路に5・6基とは言わず10基と予算との兼ね合いもあるが増やしていくべきと考えます。ダミーを取り付けるという考えもあると思います。(横松)

答) どの地区に行きましても防犯灯の設置要望は出ます。防犯カメラについても阿久比町は知多半島の中でも設置が早い方です。私が半田署の署長との話の中でプライバシーの問題を、半田署が愛知県警の方で指針を出していただき解決できるなら、町としては予算化をして駅前から設置していきたい、という話から始まりました。警察の方からも情報がほしいと要望があるので正確な書類を作り警察の方にデータを渡しています。私たちがデータの中身を見ることは無く、警察だけが見てそれを捜査のために役立てています。警察のデータによると、阿久比町の犯罪が少ないと数字で現れているようなのでこれからも防犯カメラの設置は進めていきたい。

阿久比町の防犯灯の考え方は新しいところに設置する以外に、既設の防犯灯のLED化。年間100台、1%予算枠を使いながら交換しています。電気代が抑制できればその分LED化できます。今、防犯灯をLED化することが防犯灯に関する町としての方針です。例えば方法論ですが、費用を地区が半分もち、半分町がもつやり方。近隣市町でもやり方は違います。阿久比町は電気代も全額持ち、設置代も全額持っています。このやり方をしている市町が全部ではありません。地区と町が共同で設置台数を増やすというのも1つの政策だと思うのです。それについては町がどういう考え方をするのかとなりますが、現在は、全額町が持つのでというのが政策ですので、限られた予算でやっていくしかありません。それでは遅すぎる、一緒になってやっていくのだということであれば、また違う方法も考えていきますので、行政協力員会などで意見を言っていただければありがたいと思いますのでよろしくお願いします。防犯灯や防犯カメラの要望が多いということは、町が安全になっていくということでもあります。安全、安心、安定の町になっていくのは私の政策と一致していますのでこれからも頑張っていきたいと思います。(町長)

要望) 防犯灯の要望場所を今日の帰りに是非現場を見に行ってください。(宮津)

6. 閉会あいさつ

本日は、貴重なお時間をありがとうございました。皆様からいただきましたご提案、ご提言につきまして今後の行政運営に反映させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で、平成27年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)